

社会資本整備総合交付金事業  
一般国道168号 香芝王寺道路  
奈良県（道路建設課）

1. 再評価対象事業一覧表
2. 事業評価項目一覧表
3. 説明資料



## 事業評価項目一覧表

事業名	社会資本整備総合交付金事業	事業主体	奈良県
河川・道路名等	一般国道168号	事業箇所	香芝王寺道路
<b>評価項目及び評価内容</b>			
<b>事業の目的及び必要性</b> <input type="checkbox"/> 目的 ・交通混雑の緩和、交通安全性の向上、地域の活性化、救急救命活動の支援。 <input type="checkbox"/> 必要性 ・現道区間の交通量は増加傾向、東西の広域道路ネットワークを結ぶ南北方向の交通混雑の緩和。歩行者の交通安全性の向上が期待される。地域の活性化が期待される。救急救命活動を支援する道路である。 (資料 p. 5～11)			
<b>事業策定の経緯</b> <input type="checkbox"/> 当時の状況 ・交通量が多く、交通混雑が発生している。歩行者の安全性の確保が課題。道路整備の要望が強い <input type="checkbox"/> 着手までの経緯 昭和40年に都市計画決定、平成19年都市計画変更 (資料 p. 5)			
<b>事業の効果(費用対効果や施策的な効果など)</b> <input type="checkbox"/> 計画時の効果 ・B/C=1.5 <input type="checkbox"/> 現時点の効果 ・B/C=1.7 (資料 p. 13)			
<b>事業の進捗状況(着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など)</b> <input type="checkbox"/> 進捗状況 ・事業進捗率：94% <input type="checkbox"/> 執行の遅延及び原因 ・執行の遅延は発生していない (資料 p. 15)			
<b>事業進捗の見込み</b> <input type="checkbox"/> 進捗の対策 ・用地買収率 29% (平成28年10月末時点) <input type="checkbox"/> 進捗の見込み ・香芝インターチェンジ前後を先行して事業を進めており、平成26年度までに、2工区の約600mの拡幅工事が完了している。平成27年度までに404件中53件の用地買収が完了している。 1工区は、平成28年度も引き続き用地交渉を進めており、現時点で6件の地権者と概ね合意をしている。2工区は、残る2件の地権者と用地交渉を進めるとともに、事業認定の手続きの活用についても検討し、早期に用地買収を完了する予定。3工区は、王寺町域の設計協議を完了させたうえで用地幅杭を設置し、北側から用地交渉を重点的に進めていく予定。香芝市域については、設計協議を完了する予定。 (資料 p. 15)			
<b>事業の対策</b> 平成30年代半ばの事業完了を目標に事業推進に努める。 (資料 p. 17)			
<b>その他</b> <input type="checkbox"/> 関係機関等の意向 平成27年3月に王寺町長より畠田4丁目交差点以南の早期の整備要望。 <input type="checkbox"/> 関連事業の有無 国道168号王寺道路 (資料 p. 14)			

H28.11.21

平成28年度 第1回 奈良県公共事業評価監視委員会

一般国道168号  
かしばおうじ  
香芝王寺道路

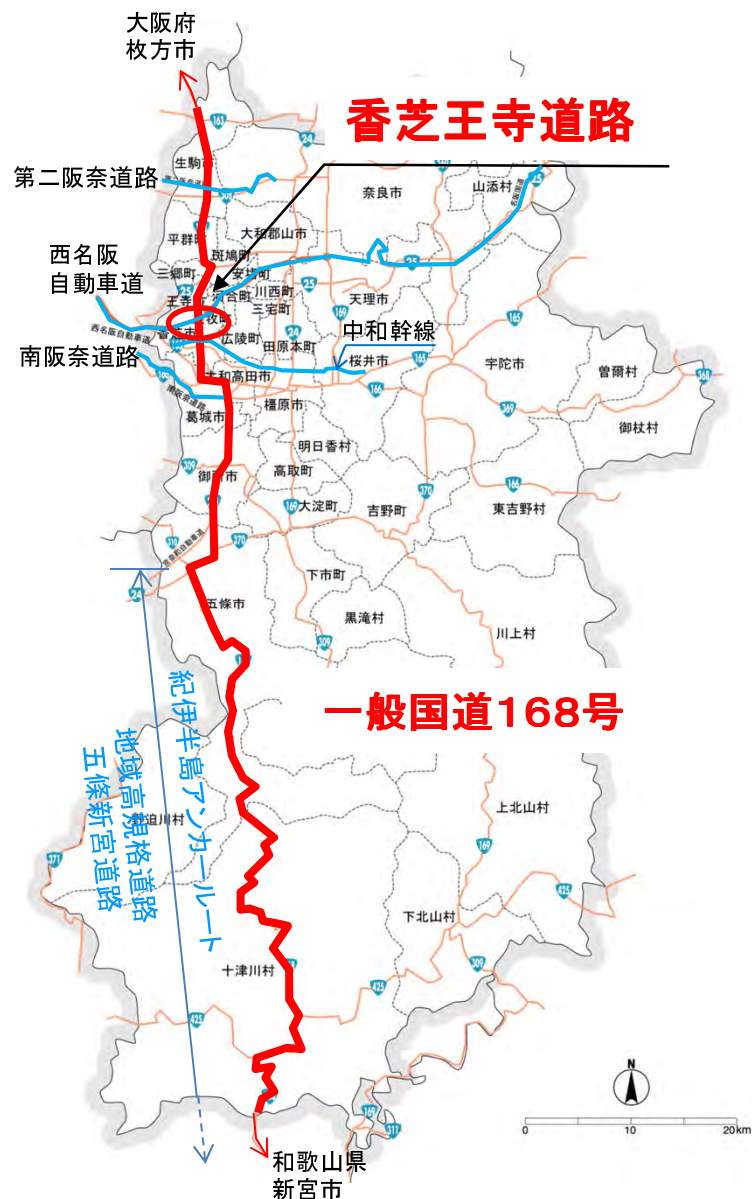
平成28年11月

奈良県県土マネジメント部道路建設課

# 目 次

1. 路線の状況
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
4. 事業の進捗の見込みの視点
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性及び事業完了後の  
良好な公共サービス提供の視点
6. 対応方針(案)

# 1. 路線の状況(県内の一般国道168号)

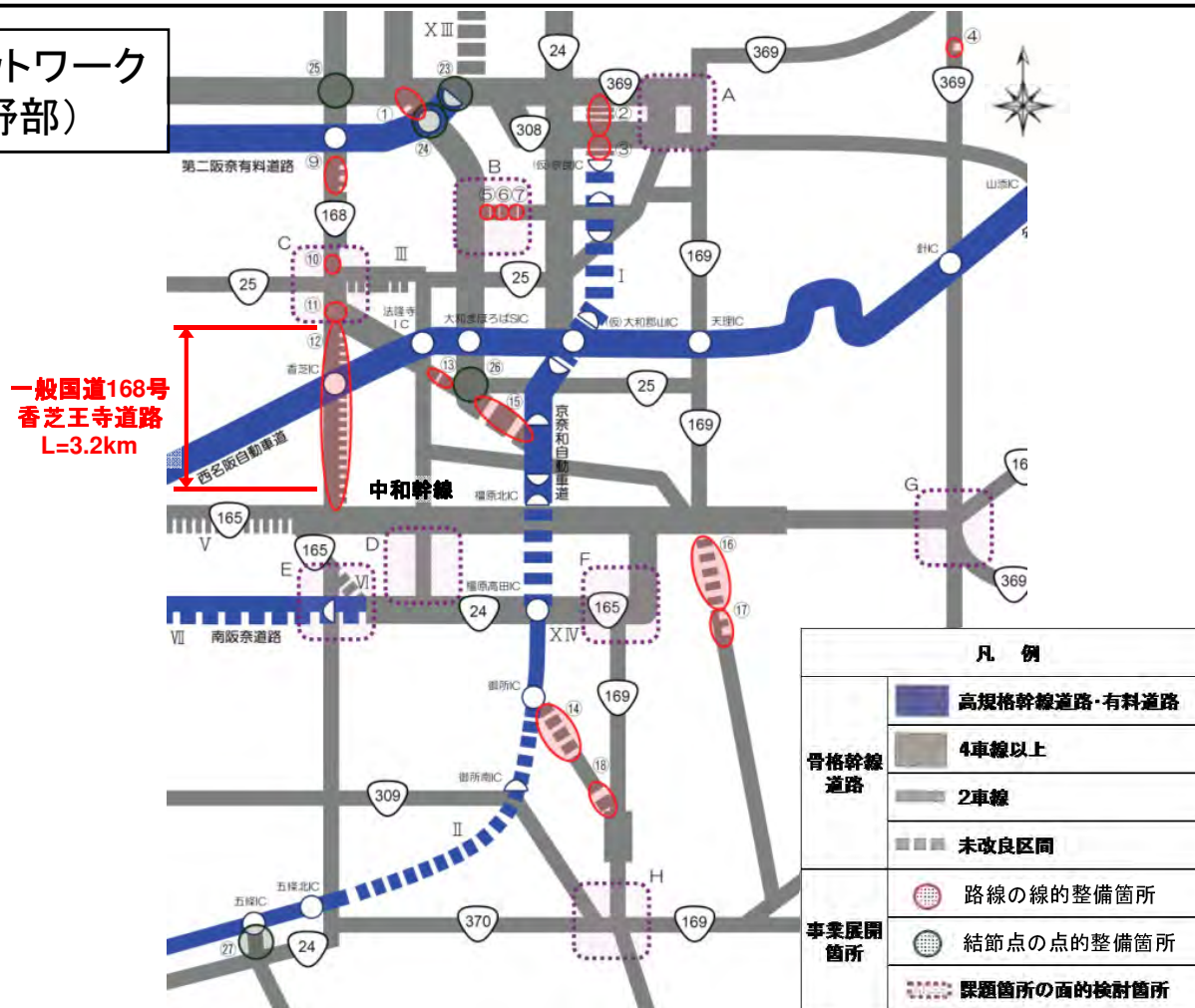


- 一般国道168号は、和歌山県新宮市を起点とし、大阪府枚方市に至る延長約180km(奈良県域約122km)の主要幹線道路。
- 奈良県域は全線が第1次緊急輸送道路に指定されている。
- 北・中和地域においては、第二阪奈道路や西名阪自動車道、中和幹線、南阪奈道路など東西交流軸と接続する道路であり、日常生活や産業活動を支えるうえで欠くことの出来ない道路。

# 1. 路線の状況(骨格幹線道路ネットワーク)

- 一般国道168号香芝王寺道路は、奈良県北西部地域における南北幹線道路であり、延長約3.2kmの道路整備事業である。
- 本道路は、一般国道25号、西名阪自動車道、中和幹線を繋ぐ道路であり、奈良県道路整備基本計画(平成26年7月)において、骨格幹線道路ネットワークにおける路線の線的整備箇所として重点的な整備を推進する路線に位置づけられている。

骨格幹線ネットワーク  
(大和平野部)



※各路線については、事業中箇所の事業進捗を見込んだ概ね10年後の姿を表記。  
※県以外が事業主体となる路線のうち、事業方針が明らかにされていない区間については、点線で表記。

出典: 奈良県道路整備基本計画

# 1. 路線の状況(周辺の状況)

- 香芝王寺道路は、奈良県北西部地域における南北幹線道路で、王寺道路とともに、一般国道25号、西名阪自動車道、中和幹線を繋ぐことにより、東西-南北軸の道路幹線ネットワークが実現され、地域の交通環境の改善や生活利便性の向上が図られることを期待。
- 香芝王寺道路は、平成26年度に約3.2kmのうち約0.6kmが部分供用、王寺道路が平成27年度までに約1.5kmのうち約1.2kmが部分供用。また、中和幹線接続部が平成23年度に供用。

## ◆事業区間位置図

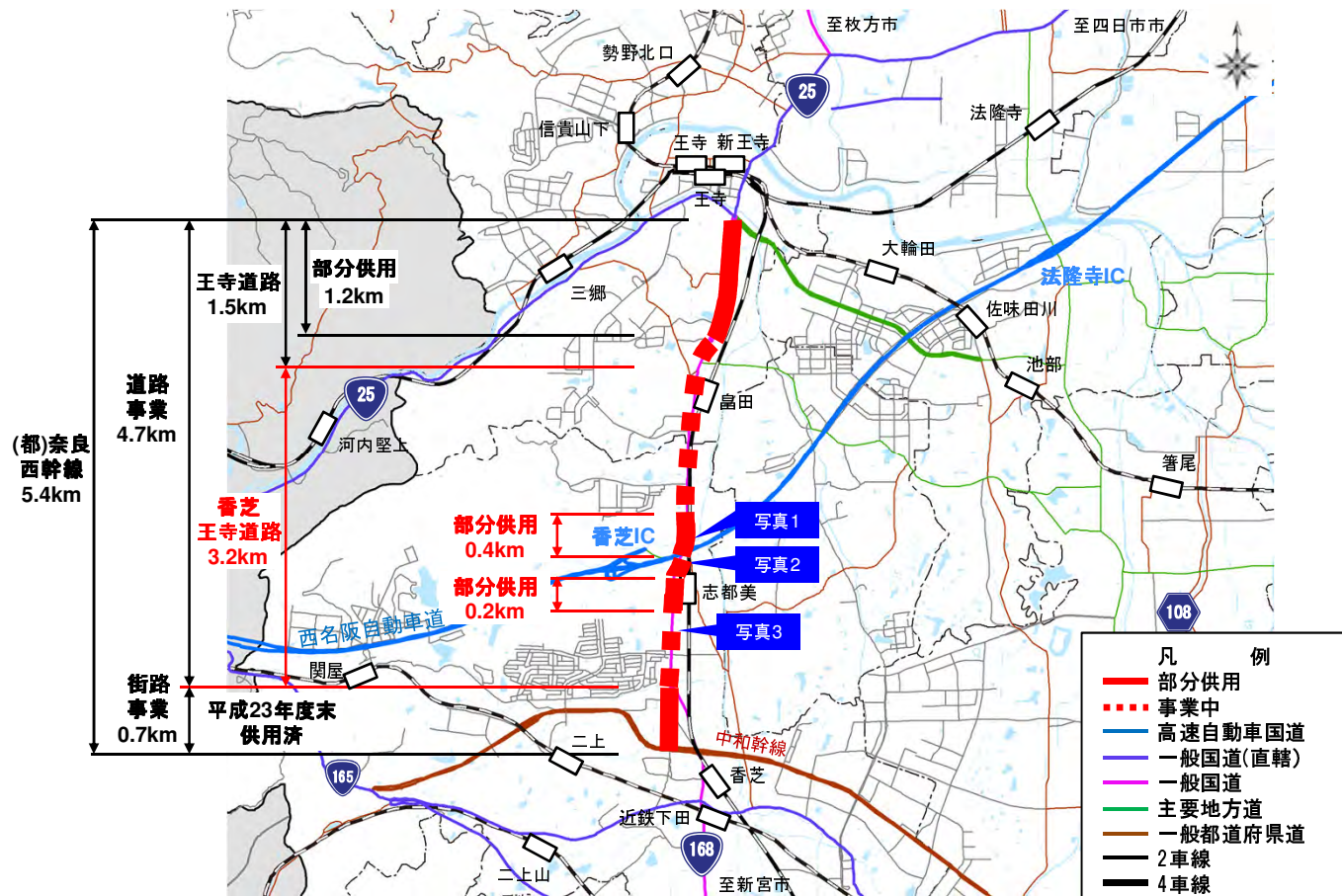


写真1 香芝IC付近(H28.10)



写真2 部分供用区間(H28.10)



写真3 現道区間(H28.10)



## 2. 事業の概要

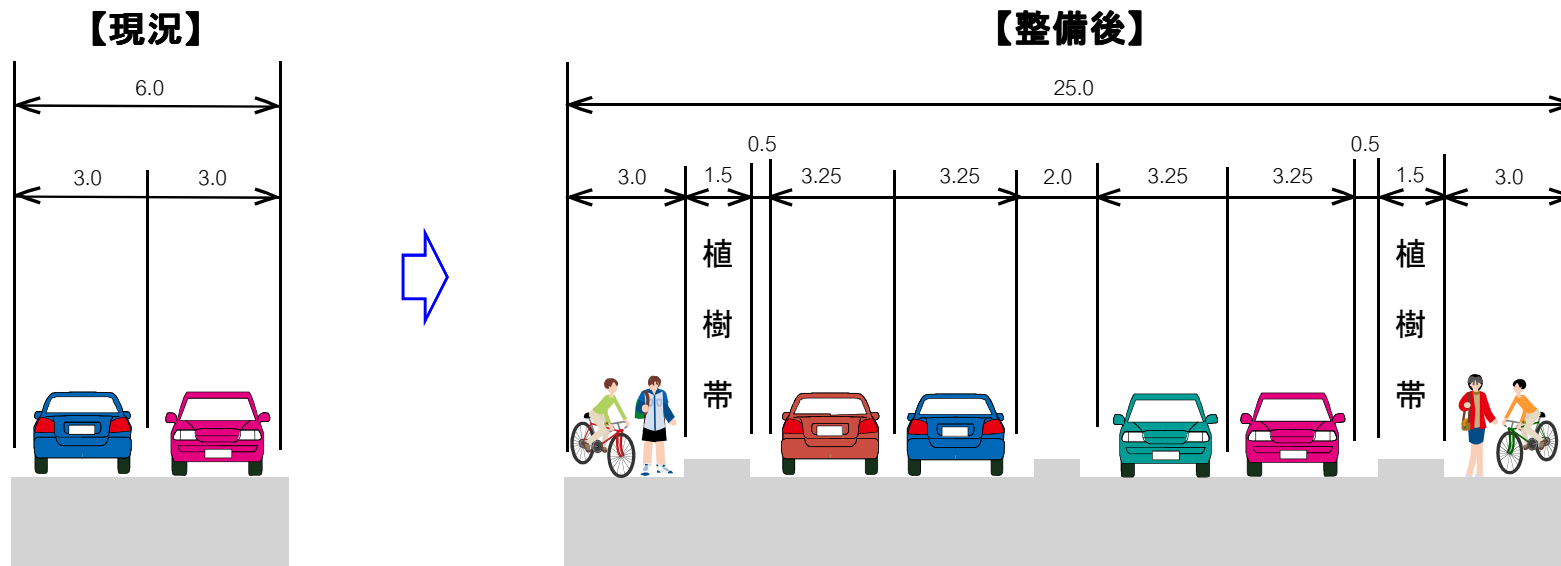
### ◆事業の目的

- ・交通混雑の緩和
- ・交通安全性の向上
- ・地域の活性化
- ・救急救命活動の支援

### ◆事業概要、進捗状況

路線名	一般国道168号 香芝王寺道路
事業区間	奈良県香芝市北今市～奈良県葛城郡王寺町畠田4丁目
事業延長	3.2km
構造規格	第4種第1級
設計速度	50km/h
計画交通量	13,900～26,300台/日
車線数	4車線
道路幅員	25.0m
事業費	全体事業費 約114億円
事業の経緯	昭和40年 都市計画決定 平成18年度 事業化 平成19年 都市計画変更

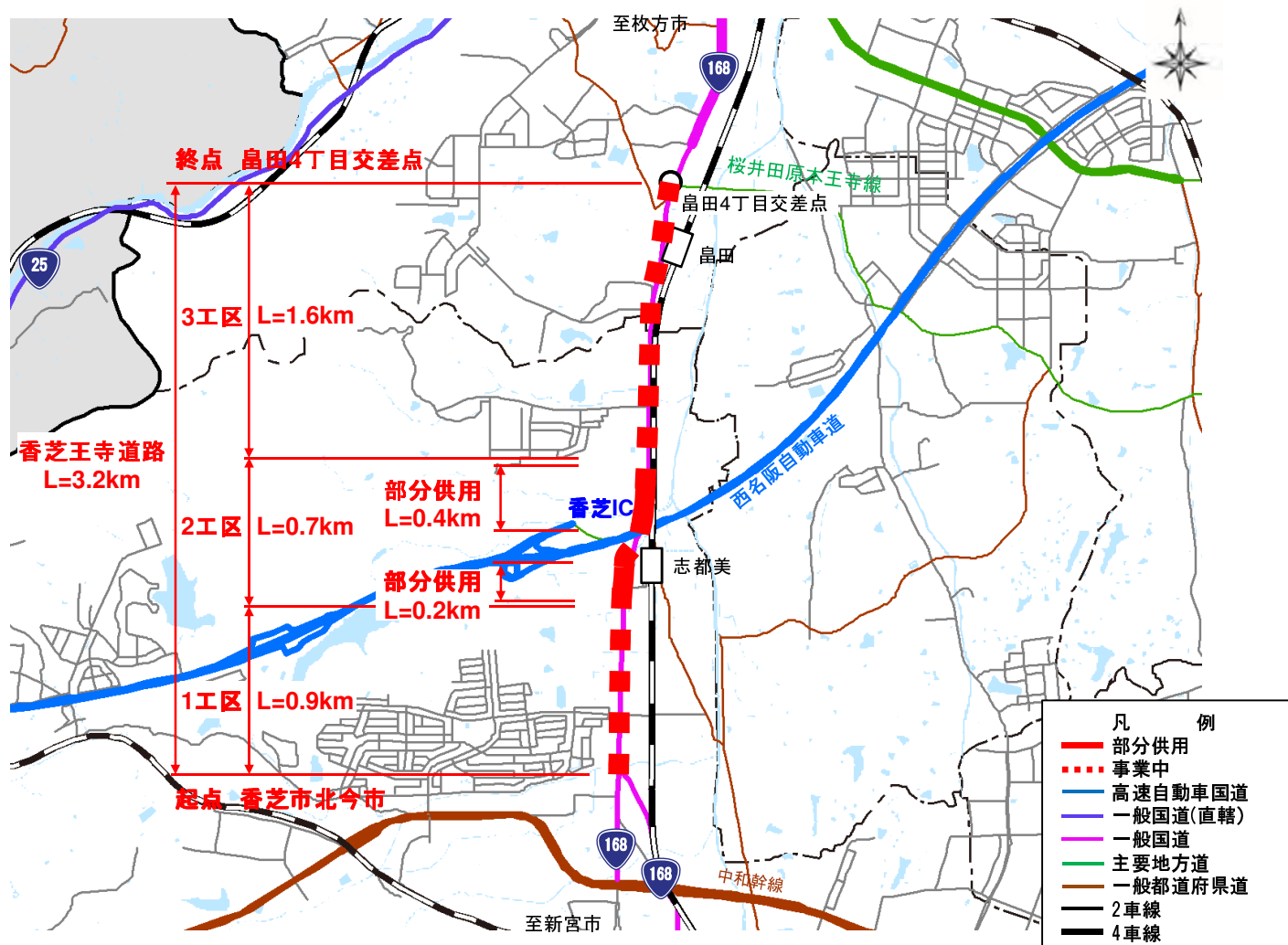
### ◆標準断面図



## 2. 事業の概要(計画図)

■香芝王寺道路は、香芝市北今市から畠田4丁目交差点(桜井田原本王寺線)に至る延長約3.2kmの道路(部分供用 0.6km)。

### ◆事業区間計画図

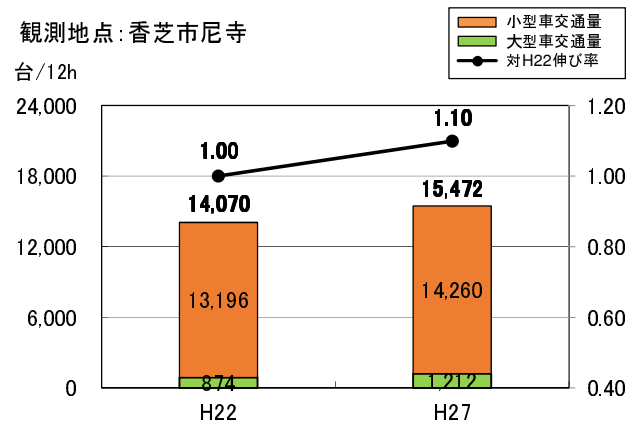


# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

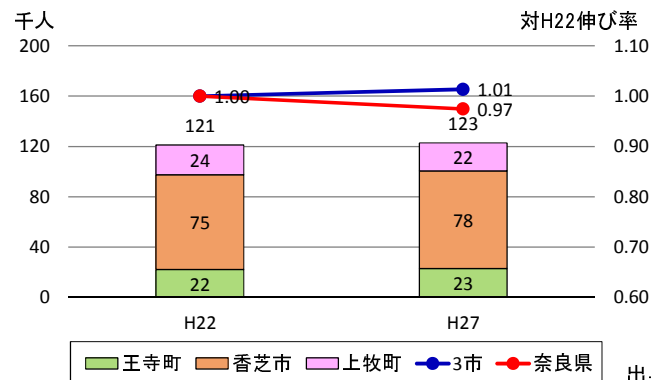
- 国道168号の交通量は、約1万5千台/12h(H27)で若干の増加傾向(対H22伸び率1.10)。
- 奈良県の人口が減少傾向(対H22伸び率0.97)にある中で、香芝市・王寺町・上牧町の3市の人口は増加傾向(対H22伸び率1.01)。
- 香芝市・王寺町・上牧町の3市の自動車保有台数は、横ばい(対H22伸び率0.99)。

### ◆交通状況



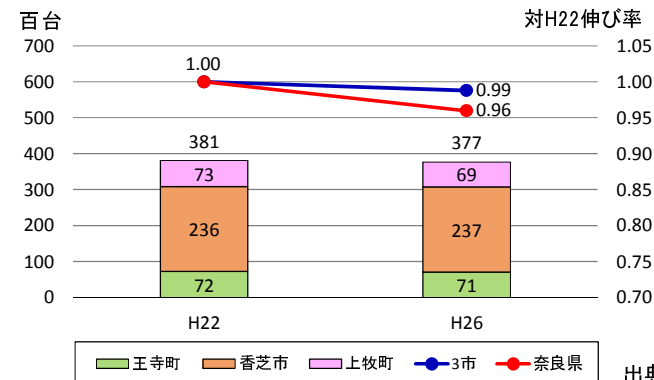
出典: H22は道路交通センサス  
H27は道路交通センサス観測地点における  
交通量調査結果(平成27年度)

### ◆香芝市・王寺町・上牧町の人口



出典: 国勢調査

### ◆香芝市・王寺町・上牧町の自動車保有台数



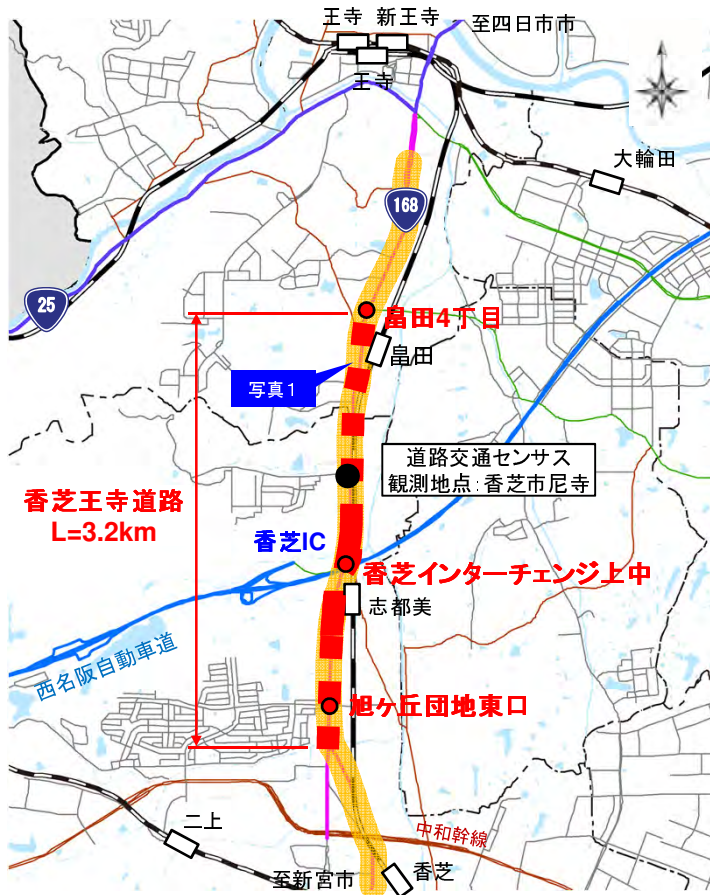
出典: 奈良県統計年鑑

# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果【交通混雑の緩和】

- 香芝王寺道路の現道は、混雑度が1.78(H27)であり慢性的混雑状態。全区間が地域の主要渋滞箇所として公表。
- 当該道路の4車線化整備により、一般国道25号、西名阪自動車道、中和幹線を繋ぐ南北方向の交通円滑化に寄与。

### ◆ 周辺道路網の現状

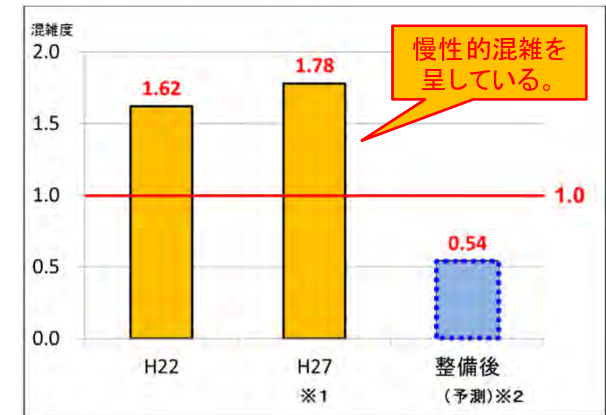


### ◆ 国道168号の交通状況



写真1 国道168号の渋滞(H28.10)

【混雑度(観測地点: 香芝市尼寺)】



※1 H27の混雑度はH22の交通容量から算出  
 ※2 整備後の混雑度は、H27の交通量と4車線の道路構造令の設計基準交通量を用いて算出

出典: H22道路交通センサス

#### ※混雑度の解釈

- 1.0未満: 昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。
- 1.0~1.25: 昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時間)ある。
- 1.25~1.75: ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速的に増加する可能性の高い状態。
- 1.75以上: 慢性的混雑状態。

出典: 道路の交通容量((社)日本道路協会)

# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果【交通安全性の向上】

- 香芝王寺道路の現道は、道路幅員が狭く、一部で歩道がないため、大型車のすれ違いが困難であり、歩行者の通行が危険な状態。死傷事故件数は197件(H22~H26)、事故率は178.9件/億台キロ※。
- 国道は通学路に指定されていないが、渋滞を避けるための抜け道として通過交通が通学路に進入し、危険。
- 当該道路の4車線化整備により、幹線道路の円滑な交通が確保されることで、生活道路・通学路への迂回交通が転換でき、生活道路・通学路の交通安全向上が期待。

### ◆国道168号周辺の通学路

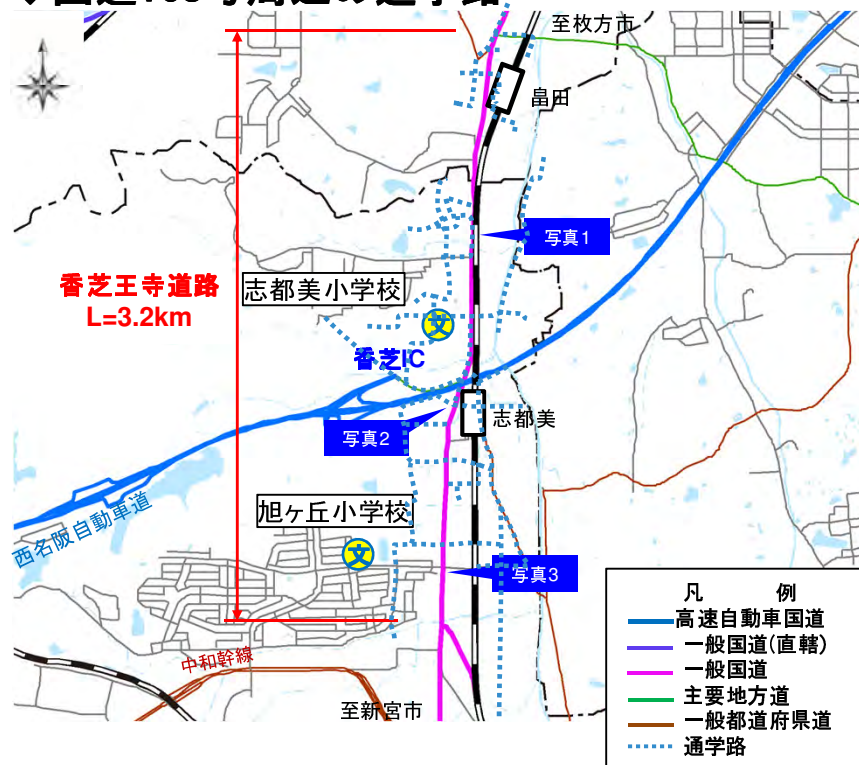


写真1 大型車のすれ違いが困難な状況(H28.10)



写真2 部分供用区間(H28.10)

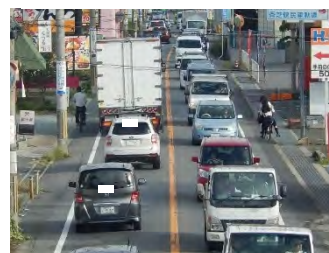


写真3 歩行者自転車通行時の状況(H28.10)

※一般国道の全国平均は81件/億台キロ

### ◆旭ヶ丘小学校からの声

通学路は住宅地の中の道路を指定しています。

登下校の時間帯には国道168号の渋滞を避けるために抜け道利用の車が住宅街の道路に進入しています。住宅街の道路は歩道がなく、車1台しか通れないところもあり、危険と感じています。

出典：旭ヶ丘小学校ヒアリング結果(H28.10)

### ◆志都美小学校からの声

国道168号は、朝夕の交通量が非常に多く、危険であるため、通学路として指定していません。生徒は住宅街を歩いて登校しています。

しかし、住宅街の道は細く、歩道も設置されていませんが、抜け道利用の車が多いため、危険であることには変わりはありません。

拡幅により、住宅街に進入する車が減少することによって、通学路の安全性が向上することに期待しています。

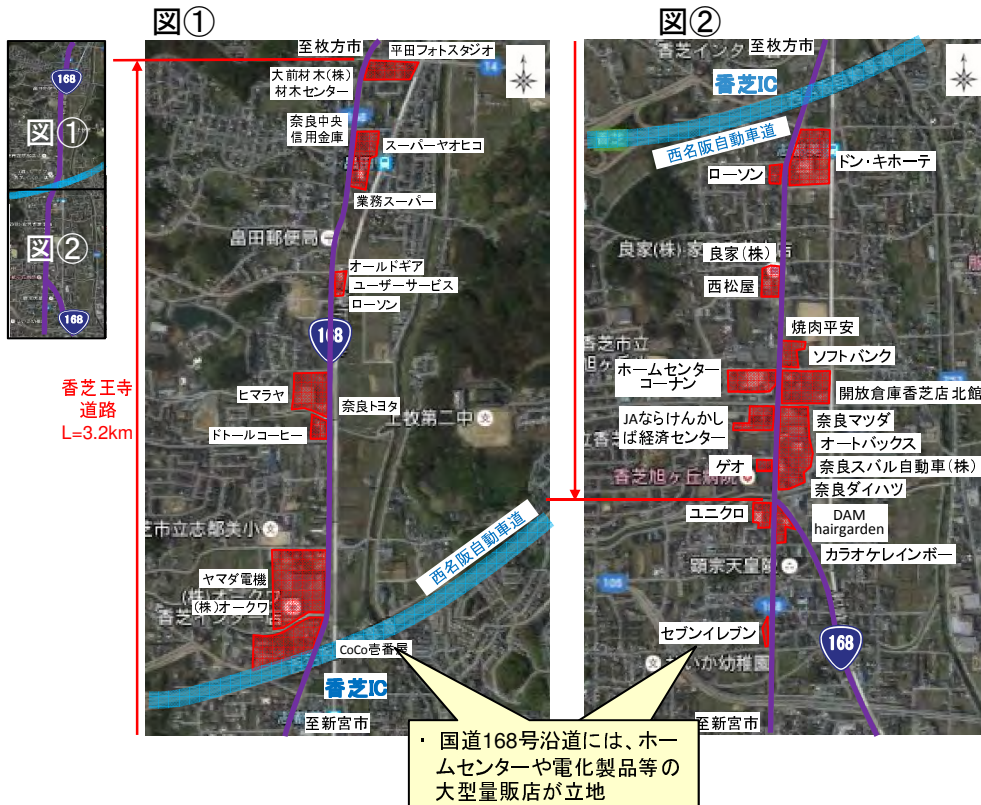
出典：志都美小学校ヒアリング結果(H28.10)

# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果【地域の活性化】

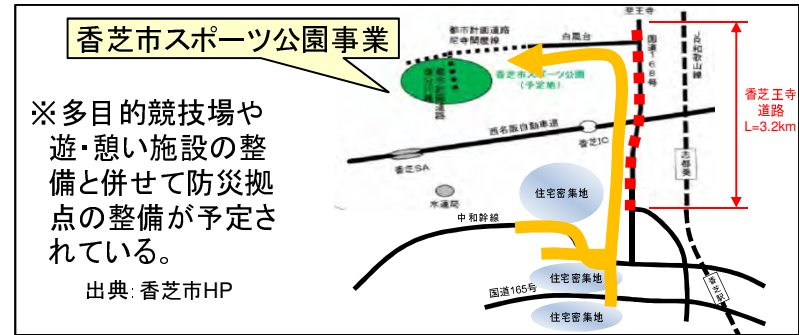
- 香芝市内及び王寺町内の国道168号沿道には、ホームセンターや電化製品等の大型量販店の集客施設が立地（32件）。また、香芝市都市計画マスタープランで「広域交通基盤を活用した産業の育成」の位置づけがあり、地域の活性化を促進するため、流通関連施設や商業施設などの立地を計画的に誘導することとされている。
- 香芝市内北部に香芝市スポーツ公園の整備を予定しており、香芝王寺道路の道路拡幅等により、市民及び広域からの利用による地域活性化に期待。

### ◆ 国道168号沿道の集客施設立地状況



参考:「香芝市都市計画マスタープランH18.3」 P.74より

香芝市では、西名阪自動車道香芝IC周辺においては、地域の活性化を促進するため、地区計画等の活用により周辺環境との調和を図りながら、**流通関連施設や商業施設などの立地を計画的に誘導**します。



### ◆ 香芝市役所からの声

香芝市は人口が増加しており、商業施設の立地も進んでいます。今後も市内で生活面が整うように更なる地域活性化の取組を行っています。

また、市内北部に香芝市スポーツ公園の整備を予定しており、プール等を設置して、市内や周辺市町の住民の憩いの場となるようにしたいと思います。

香芝王寺道路の道路拡幅等により、市民及び広域からの利用による地域活性化に期待したいと思います。

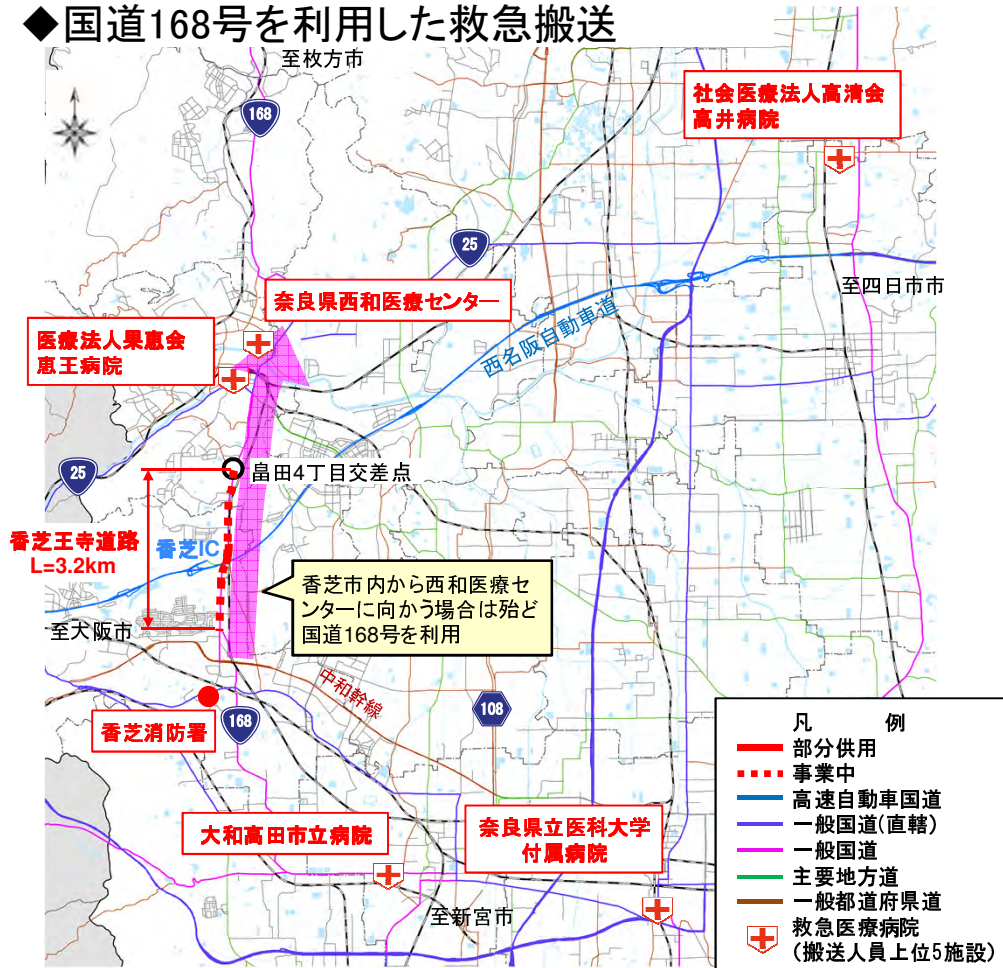
出典: 香芝市役所ヒアリング結果(H28.10)

# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果【救急救命活動の支援】

- 香芝消防署では、平成28年1月～9月の9か月間での出動件数は2,180件あり、その多くが国道168号を通過している。
- 香芝王寺道路の現道では、渋滞などにより救急搬送時において遅れ時間が発生する場合がある。
- 当該道路の整備により、救急搬送の円滑化向上に期待（一般車両では3.7分の時間短縮）。

### ◆ 国道168号を利用した救急搬送



### ◆ 香芝消防署救急搬送状況

【搬送状況(平成28年1月～9月を集計)】

出動件数	2,180件
搬送人員	2,015人

【搬送人員上位5の医療機関(平成28年1月～9月を集計)】

医療機関名	搬送人員(人)
奈良県西和医療センター	374
大和高田市立病院	181
社会医療法人高済会 高井病院	133
奈良県立医科大学付属病院	130
医療法人果恵会恵王病院	119
その他	1,078
合計	2,015

出典: 香芝消防署ヒアリング結果 (H28.10)

### ◆ 香芝消防署からの声



香芝市内から西和医療センターに向かう場合は殆ど国道168号を利用しています。

香芝王寺道路の現道は車道が狭く、電柱が飛び出している箇所等があり、走行時に歩行者・自転車との接触の危険を感じています。

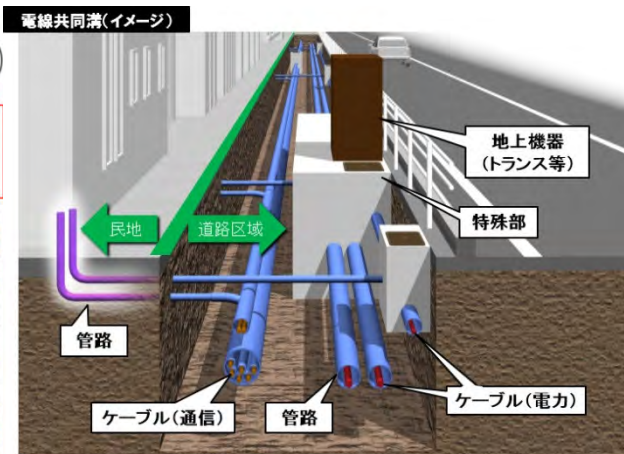
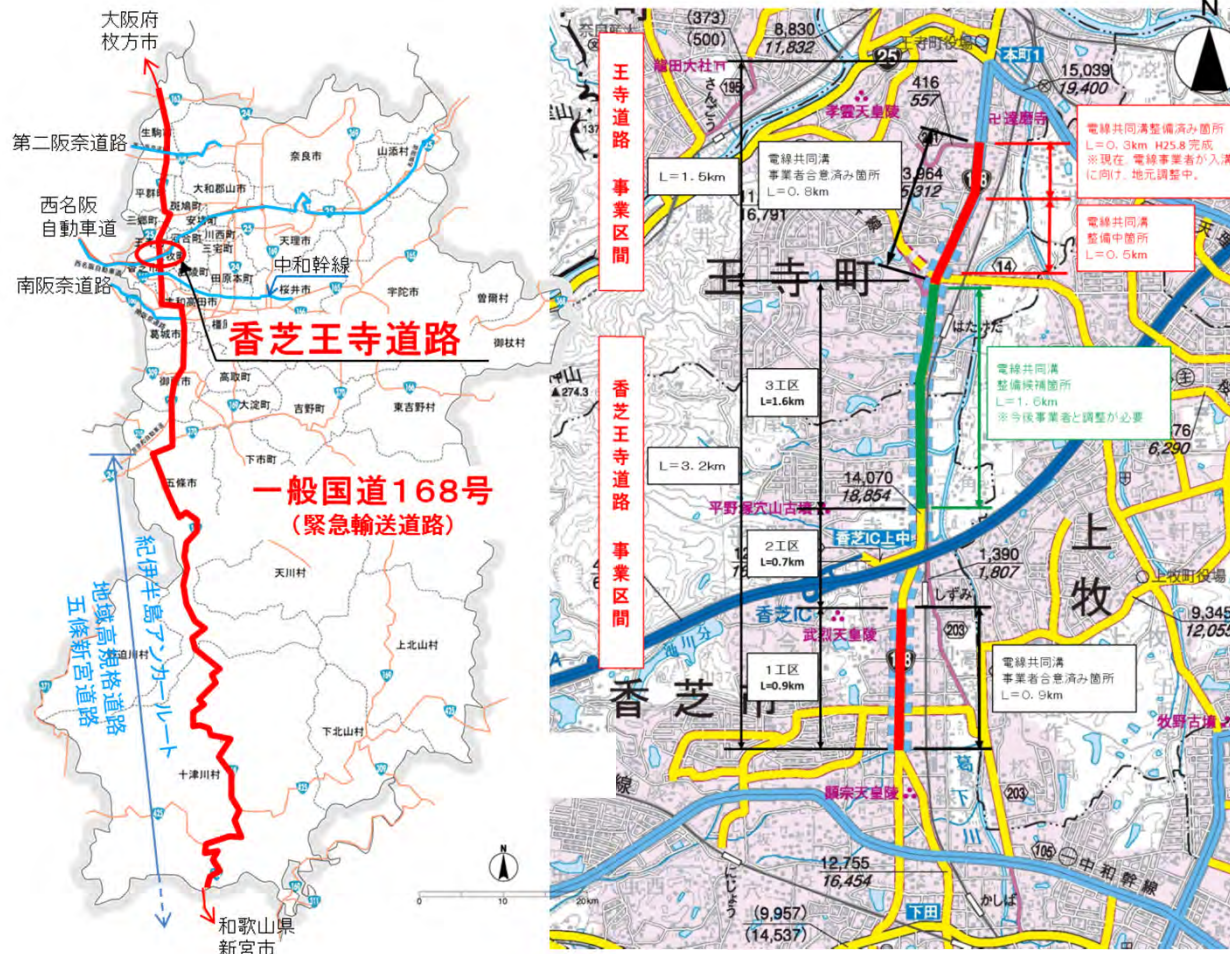
また、時間帯によっては両方向とも渋滞しており、遅れ時間が発生する原因となっています。

救急車両は一般車両と比較して大きいため、道路の拡幅は非常に重要です。国道168号の道路拡幅による救急搬送の円滑化の向上に期待します。

# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果【緊急輸送道路の通行機能確保】

- 県内の国道168号は全線が第一次緊急輸送道路に指定されており、災害時に緊急車両の通行を確保すべき重要な路線。
- 地震などの災害時に緊急車両の交通を確保するために、道路整備とあわせて電線共同溝を整備し無電柱化を行う予定。



出典:国土交通省HP「無電柱化の手法」



写真1 現道における電柱の状況 (H28.10)



# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 3) 事業の投資効果

### ◆事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益※1	費用便益比(B/C)
	177.8億円	9.9億円	3.1億円	190.7億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用※1	
	108.8億円	0.4億円		109.2億円	

(前回再評価時B/C=1.5)

### ■算出条件等

基準年	: 平成28年度
検討期間	: 50年間
現在価値算出のための社会的割引率	: 4%
交通量の推計時点	: 平成42年度
推計に用いた資料	: 平成17年度道路交通センサス
適用した費用便益分析	: 平成20年11月版マニュアル
事業費	: 109億円(現在価値)
維持管理費	: 839千円/km
作成主体	: 奈良県

### ◆残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益※1	費用便益比(B/C)
	177.8億円	9.9億円	3.1億円	190.7億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用※1	
	55.5億円	0.4億円		55.9億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である。

※2 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している。

# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 4) 地域における計画等

### 事業の位置付け

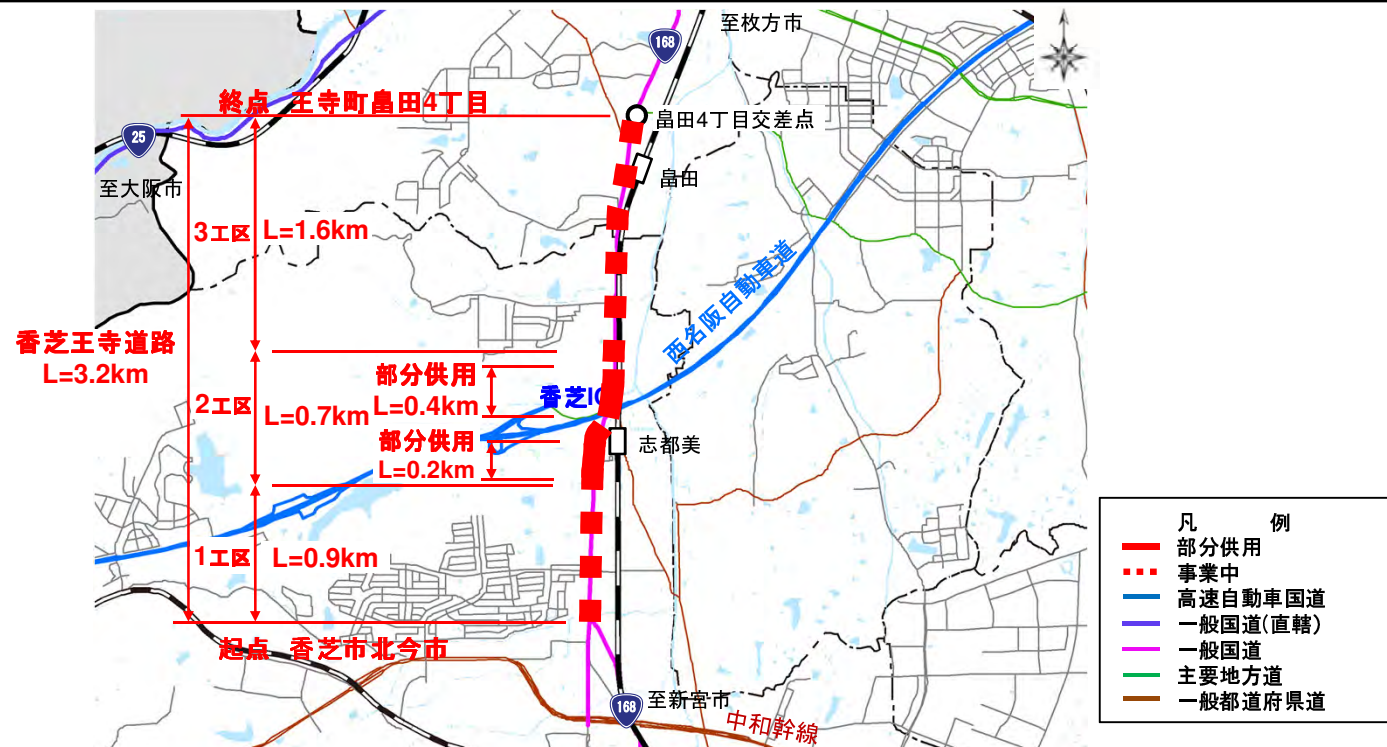
- 奈良県道路整備基本計画(平成26年7月)  
骨格幹線道路ネットワークにおける路線の線的整備箇所として位置づけ重点的な整備を推進。
- 香芝市都市計画マスタープラン(平成18年3月)  
国道165号、国道168号などの主要幹線道路や鉄道を地域連携軸とし、核・拠点をこれら連携軸でネットワークすることにより、均衡ある地域の発展を促進。
- 王寺町のまちづくりについて(平成28年8月)  
奈良県の西和地区の拠点として、公共交通の結節点でもある「王寺駅」の周辺部で都市機能の集約を図り、にぎわいある中心市街地の形成を図る。

### 要望経緯

- 県予算等に関する要望事項(部長要望) 奈良県市長会(平成28年9月)  
国道168号香芝王寺道路の香芝市北今市から尼寺区間の早期完成及び、渋滞緩和や歩行空間の確保を要望。
- 県予算等に関する要望事項(部長要望) 奈良県町村会・奈良県町村議会議長会(平成28年9月)  
国道168号(香芝市－王寺町区間)の早期供用開始を要望。
- 奈良県への要望事項 王寺町長(平成27年3月)  
王寺道路・香芝王寺道路の早期供用を要望

## 4. 事業の進捗の見込みの視点

- 香芝インターチェンジ前後を先行して事業を進めており、平成26年度までに、2工区の約600mの拡幅工事が完了している。平成27年度までに404件中153件の用地買収が完了している。
- 平成28年10月までの進捗は、事業進捗率が41%、用地買収率が29%  
(1工区35%、2工区96%、3工区1%)。
- 1工区は、平成28年度も引き続き、用地交渉を進めており、現時点で、6件の地権者と概ね合意をしている。
- 2工区は、残る2件の地権者と用地交渉を進めるとともに、事業認定の手続きの活用についても検討し、早期に用地買収を完了する予定。
- 3工区は、王寺町域の設計協議を完了させたうえで用地幅杭を設置し、北側から用地交渉を重点的に進めていく予定。香芝市域については、設計協議を完了する予定。



## 5. コスト縮減や代替案立案等の可能性及び事業完了後の良好な公共サービス提供の視点

### ◆コスト縮減に配慮した施工

建設発生土(残土)の有効利用とプレキャスト製品の採用などにより約40百万円のコスト縮減が期待される。  
より一層コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進する。

### ◆代替案立案等の可能性

現在の計画で事業の進捗に問題がないため、代替案の検討は行わない。

### ◆事業完了後の良好な公共サービス提供

供用開始時に、道路を利用される方々が安全で快適に利用していただけるよう、引き続き関係機関協議等を着実に実施する。

## 6. 対応方針(案)

### 1. 事業の必要性等に関する視点

- 東西の広域道路ネットワークを結ぶ南北方向の交通混雑の緩和。
- 現道および生活道路の交通安全性の向上が期待される。
- 地域の活性化が期待される。
- 救急救命活動を支援する道路である。
- 費用便益費(B/C)は事業全体で1.7、残事業で3.4。

### 2. 事業進捗の見込みの視点

- 現在、用地買収を実施中。事業進捗について大きな問題はない。
- 引き続き事業を推進し、平成30年代半ばの事業完了を目指す。

一般国道168号香芝王寺道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。  
引き続き事業を推進し、早期の事業完了を目指すことが適切である。

**事業継続**